

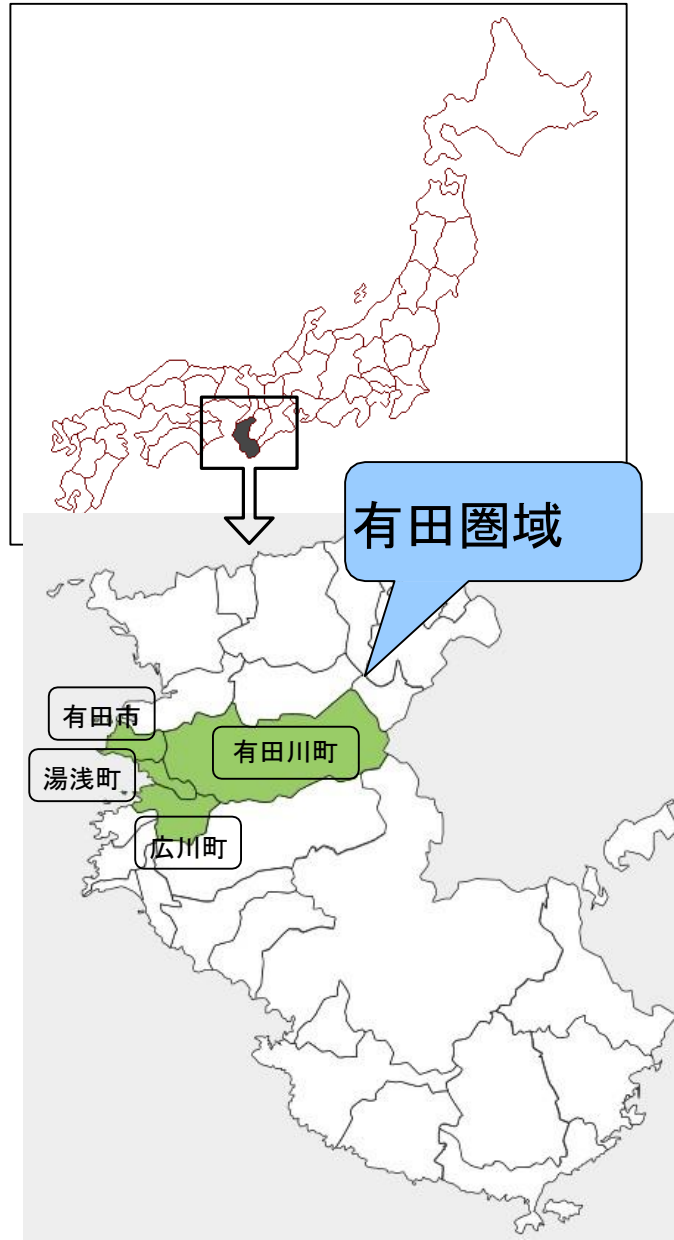
【報告3】

近隣市町、病院・医師も一緒に 本人とともにつくる地域の支え合い ～本人ミーティングの取り組みから～

有田市 / 和歌山県

有田市地域包括支援センター 松尾 圭 / 有田市立病院 道場 浩幸

和歌山県有田圏域 市町の概要



	有田市	湯浅町	広川町	有田川町
人口(人)	29,250	12,500	7,310	27,130
65歳以上人口(人)	9,264	4,137	2,289	8,403
高齢化率(%)	31.7	33.1	31.3	31.0
要介護認定者数(人)	1,839	755	429	1,705
認定率(%)	19.7	18.3	18.4	20.2
地域包括支援センター	各1か所(直営)			

平成29年1月1日現在
(要介護認定者数・率は平成29年3月末現在)

有田圏域の紹介



新オレンジプラン

7つの柱の7番目

「認知症の人やその家族の視点の重視」



平成29年度厚生労働省老人保健健康増進等事業

「認知症診断直後等における認知症の人の視点を重視した支援体制構築のための調査研究事業」



本人ミーティング

⇒「認知症本人が集い、本人同士が主になって語り合い、これからのよりよい暮らし、暮らしやすい地域のあり方を一緒に語り合う場」

⇒有田圏域として平成29年度～実施

取り組みのきっかけ・・・

平成29年10月6日(金)

和歌山県合同ワークショップ

○「本人ミーティング」を知る

認知症の方にやさしい地域づくりには本人の視点を重視した「本人ミーティング」が有効！

○認知症地域支援推進員として参加

○有田圏域(有田川町・湯浅町・広川町・有田市)から参加

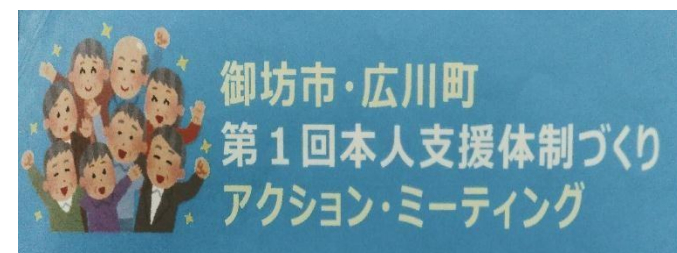


平成29年10月24日(火)

市町村合同アクションミーティング(in 御坊市)

○グループミーティング

有田川町、広川町、有田市



どうやって本人や家族にアプローチすれば……

- ・「もの忘れ外来」が2カ所できた(有田市)
- ・本人ミーティングについてDrから勧めてもらえないか？
- ・広川町で本人ミーティングを開催していく予定、有田川町、有田市でも開催していきたい
- ・「本人ミーティング」を持ち回りで開催して、有田圏域で協力し合いができる？

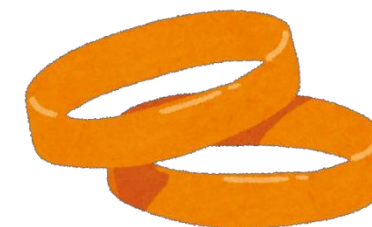
・有田圏域(有田川町・湯浅町・広川町・有田市)は1市3町で「認とも」(認知症啓発イベント)を通じてこれまでも協働してきた！



「**認**知症と共（**とも**）に生きるまちづくり」

「認とも」イベントの目標として、当事者参加を挙げていたが、なかなか繋がっていなかった。

「本人ミーティング」をきっかけに当事者の声を活かしたイベントに繋がるのでは？



「本人ミーティングも有田圏域で

協力し合いながらやってみよう！」(^~)!

・圏域で協力、持ち回りで開催

⇒他市町村へ行く事で、参加者の楽しみにつながるのでは？

⇒お互い相談しあえる！開催に向けたハードルを下げることができる！？

無理なく、楽しく、楽に！(^~♪

平成29年11月9日(木)(in 有田市立病院)

有田圏域合同(有田川町、湯浅町、広川町、有田市) アクションミーティング

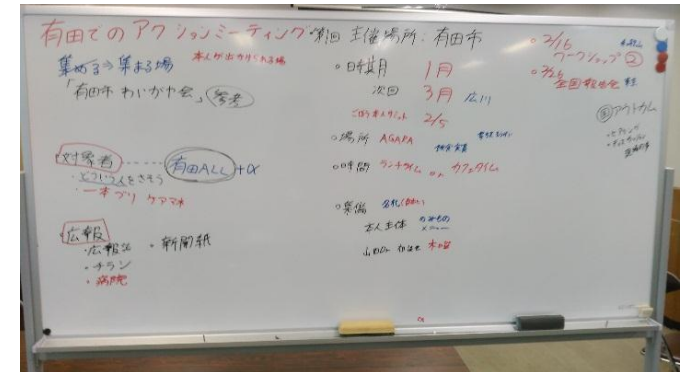
○本人ミーティングとは？ なぜするのか

これまで参加できなかった職員と情報共有

○御坊市の取り組み事例を紹介いただく

○今後の本人ミーティング開催予定について

⇒まずは、有田市で1月に開催！（地域交流カフェにて）



平成29年11月16日(木)

第1回有田市アクションミーティング

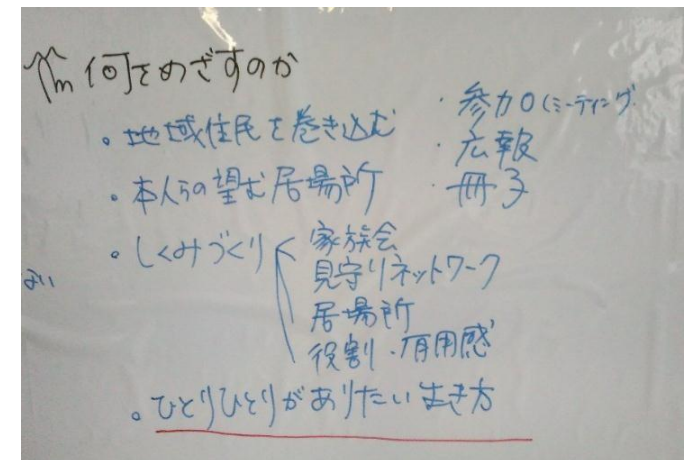
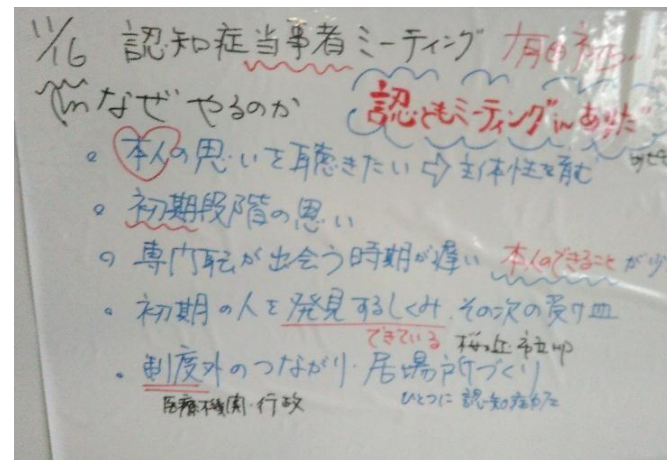
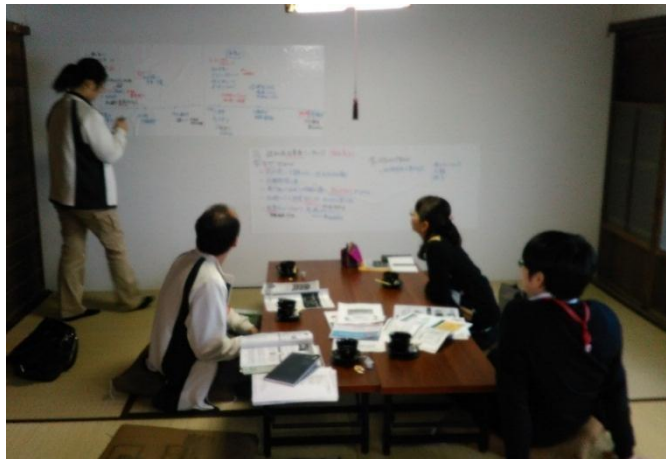
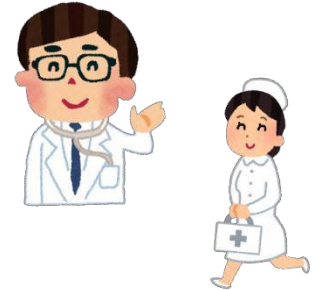
メンバー:市立病院・社協・包括

○「なぜやるか」「何をを目指すのか」確認、情報共有

- ・もの忘れ外来ができ、認知症の方と早期に出会う仕組みはできたが、そのあとの受け皿となる支援の仕組みがない？

初期の段階から専門職 に関わる機会が少ない

- ・一人一人の方がどういった関わりを望まれているのか、
どういった地域になればいいのか、「声」を聴ききたい など



平成29年11月16日(木)

第1回 有田市アクションミーティング

○「認ともミーティング」と命名

○ 案内「どこで」(もの忘れ外来、ケアマネ、包括、体操教室など)
「だれが」声掛けするか役割分担 チラシが必要？

「寄り添うことができればきっと
自分たちにももっとできる事はある」
という前向きな思いから、有田」市での
本人ミーティング企画チームを
「チームYDK！」と命名

Y(やれば) D(できる) K(こ)！

「自分たちはやればできるこ！」

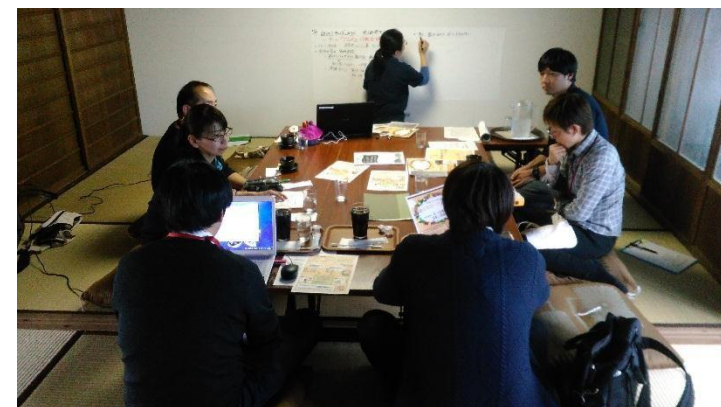


平成29年12月7日(木)

第2回有田市アクションミーティング

メンバー:市立病院、社協、医師、保健所、包括

— チームYDK! —



説明資料・案内の作成



地域交流カフェに集まろう

認ともミーティング

2018年 1月18日(木)
14:00~

どんな人が参加するの？
認知症ご本人・ご家族・ご友人など、みんなで集まって、皆さんの思いを話しませんか？
有田市民以外の参加者も大歓迎です。

参加者募集! (申込不要)

★お気軽相談コ〜ナ〜★
社会福祉士や有田市立病院もの忘れ外来の
山田医師・担当看護師がいます

場所 地域交流カフェAGALA

住所 有田市賀島13-2 右地図(駐車場6台)

参加費 なし(*ドリンク等の注文は自己負担ください)

問い合わせ先: 有田市包括支援センター 電話: 0737-83-1111





認ともミーティング

『認ともミーティング』とは？

『認ともミーティング』とは、認知症の本人が集い、本人同士が主になって語り合い、これからのよりよい暮らし、暮らしやすい地域のあり方を一緒に話し合う場です。

『認知症と共(とも)に生きるまちづくり』を目指し、楽しい企画やイベント共に想いを語り合しましょう!

—「チーム YDK」2017.12発行—

チームYDKは「Yareba(やれば) Dekiru(できる) Ko(こ)」の略称です。この会の発起人は専門職です。私たち専門職だけでできることに限界はあるけれど、本人の思いを知り、寄り添うことができれば、きっと自分たちにもっとできることはあるという前向きな思いをチーム名に込めました。

○なぜするの、何を目標してるの？

物忘れや認知症の診断による不安、辛い思いを抱える方は少なくありません。できるだけ早い段階から本人同士で語り、その想いを本人や関係者が共有する事で気持ちが楽になり、楽しく前向きに暮らしていくことができる本人の視点を重視した地域づくりを目指しています!!



・物忘れ外来
・主治医

・どんな不安があるだろう?
・どんな場所や地域、サービスがあればいいだろう?
・元気に過ごしてほしい

・誰かにわかってもらいたい
・世話になる一方はつらい、まだまだできることをつづけたい

相談、見守り

本人が仲間と出会い
想いを語る場
想いを聴く場
が地域にあれば
お互いが楽に
元気になる!!

役割
生きがい

居場所

“声”をもとに、よりよい地域づくり
やさしい地域づくり

「ひとりひとりがいたい生き方」ができる!

案内

- 市内の病院、診療所にポスター掲示依頼
 - もの忘れ外来(市内2か所)での案内依頼
 - 薬剤師会からも声かけいただき、市内薬局でも声かけ協力
 - ケアマネージャーへ呼びかけ
 - 保健所
 - 有田圏域地域包括支援センター
 - フェイスブック
- など

⇒当事者の方、他市町村から、家族からの参加希望の声

平成30年1月11日(木)

第3回 有田市 アクションミーティング！ 開

— チームYDK — 催前、事前打ち合わせ



- ・参加状況の確認
- ・テーブルの配置 各グループ5～6人を想定
参加者、ファシリテーター×1、記録×1

・ミーティングのテーマ

参加者に話したいテーマをカードに記入してもらう
⇒カード式、ゲーム感覚で楽しみにつながる！？

・スクリーン用意

説明内容や、参加者の発言を映し出す



当日の流れ

- 1 受付
- 2 自由に座る、名札へ記名
- 3 オーダー

～ミーティング開始～

- 1 あいさつ
- 2 座席確認 （本人のみ or 家族、友人と同席）
- 3 自己紹介（名前、出身、これまでしてきた仕事）
- 4 テーマに沿った意見交換（カード式）
- 5 参加者からの感想 & 次回（広川町）案内 終了
- 6 お気軽相談コーナー（希望者）



平成30年1月18日(木)14:00 「認ともミーティング」当日！

地域交流カフェに集まろう

認ともミーティング

2018年 1月18日(木)
14:00～

どんな人が参加するの？
認知症ご本人・ご家族・ご友人など、みんなで集まって、皆さんの思いを話ませんか？
有田市民以外の参加者も大歓迎です。

参加者募集！(申込不要)

★お気軽相談コ～ナ～★
社会福祉士や有田市立病院もの忘れ外来の
山田医師・担当看護師がいます

場所 地域交流カフェAGALA

住所 有田市箕島13-2 右地団(駐車場6台)

参加費 なし(※ドリンク等の注文は自己負担ください)

問い合わせ先：有田市包括支援センター 電話：0737-83-1111



受付

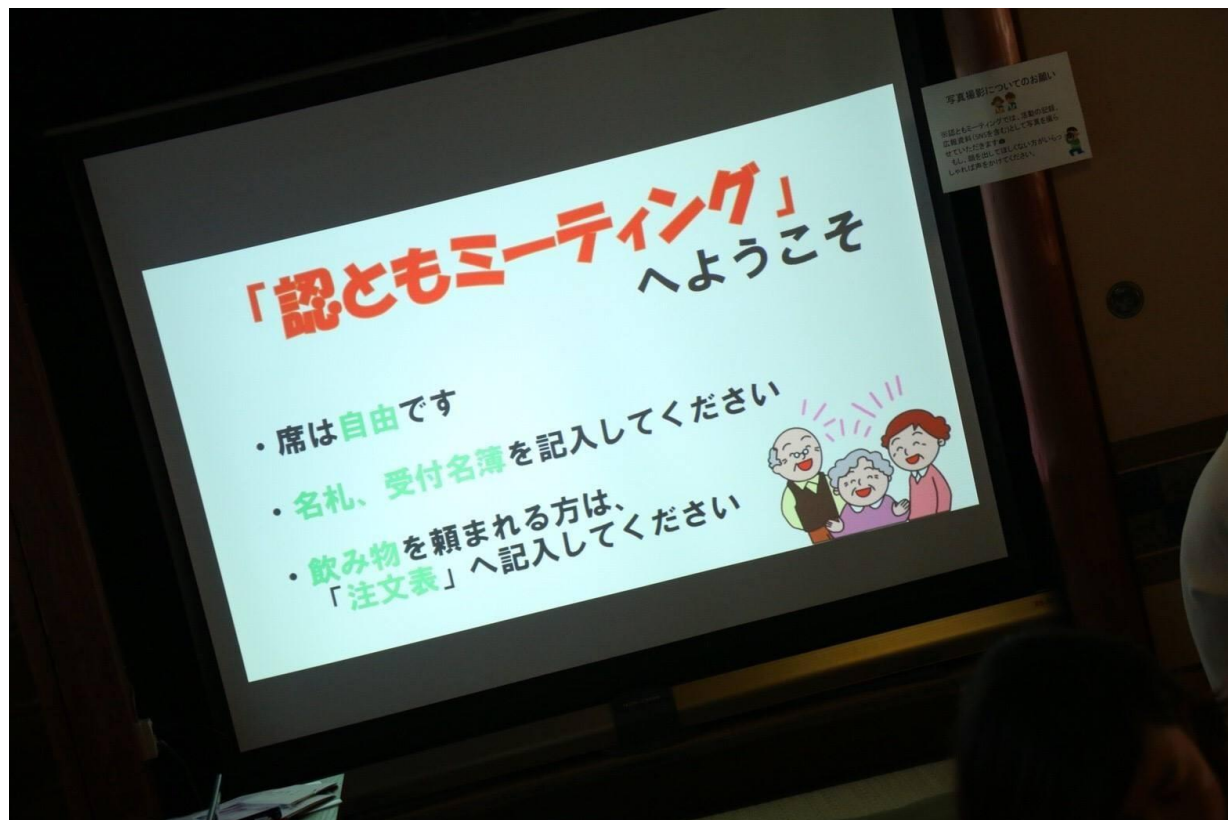


好きな席へ



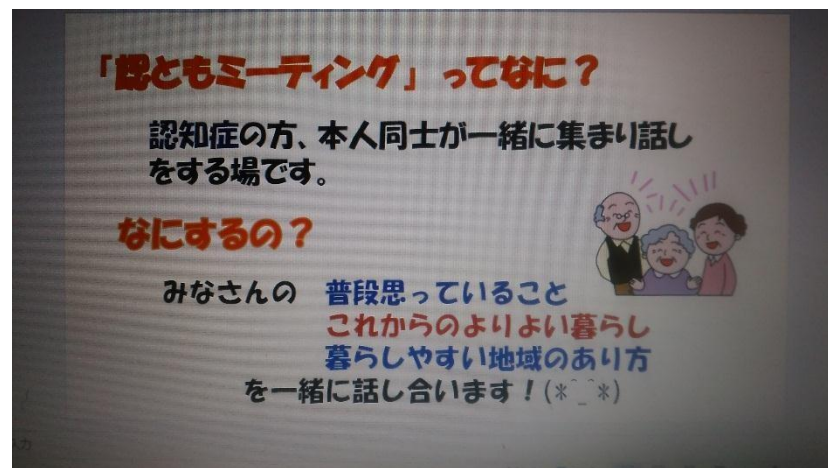
それぞれの席でオーダー





スクリーン設置！





ミーティングの流れ、目的を共有

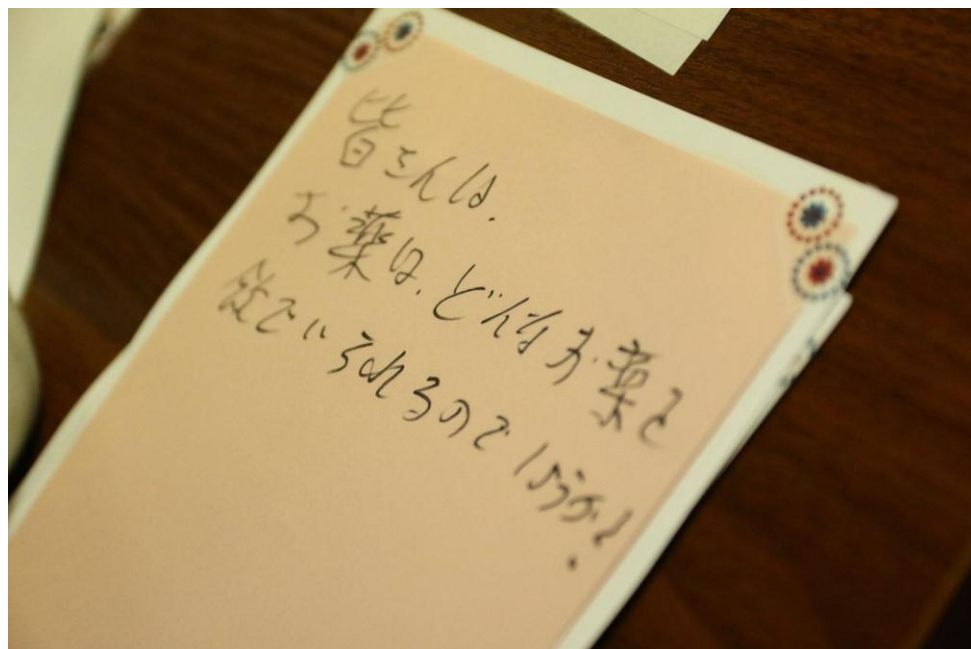
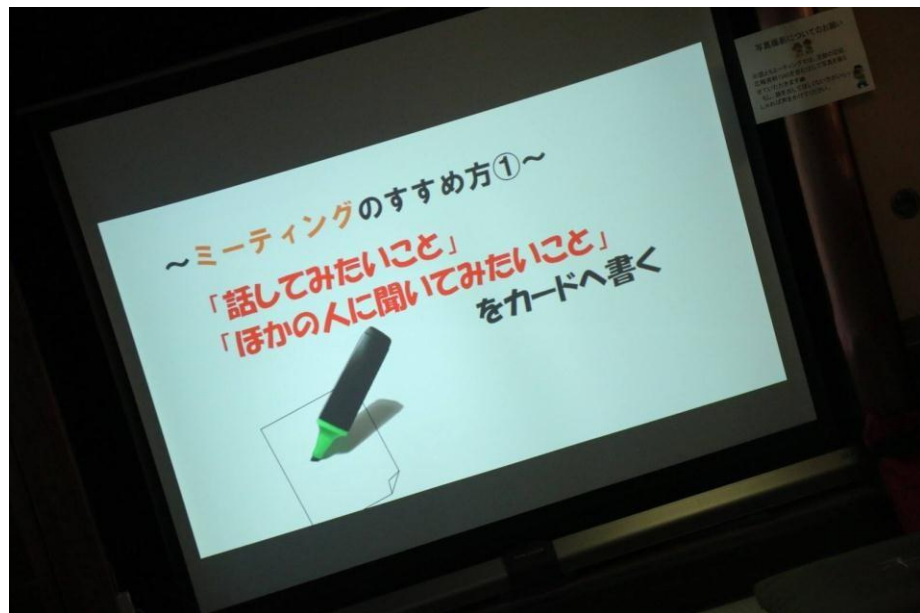
座席について

質問

- ① ご家族さん、ご友人と別々に座る
- ② ご家族さん、ご友人と一緒に座る

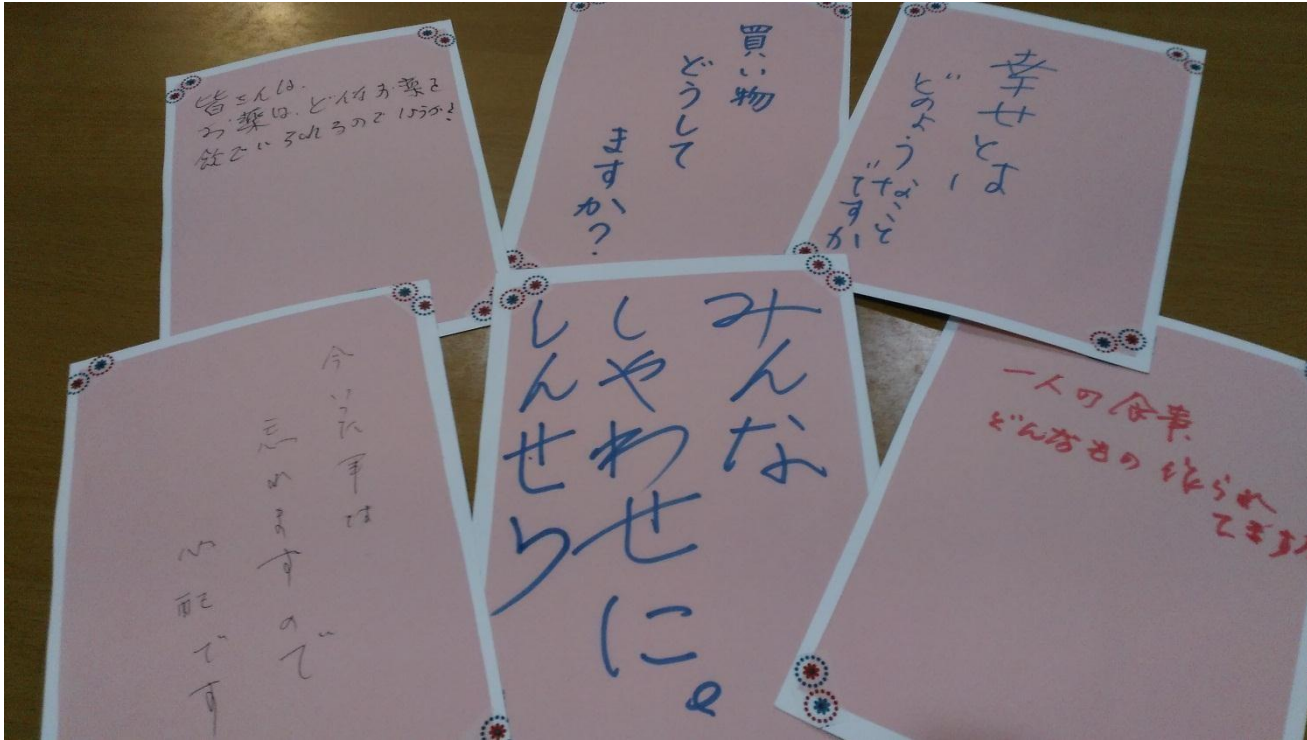
どちらが
よいですか??

②“参加者の声”から
「ご友人、ご家族と一緒に座る」ことに



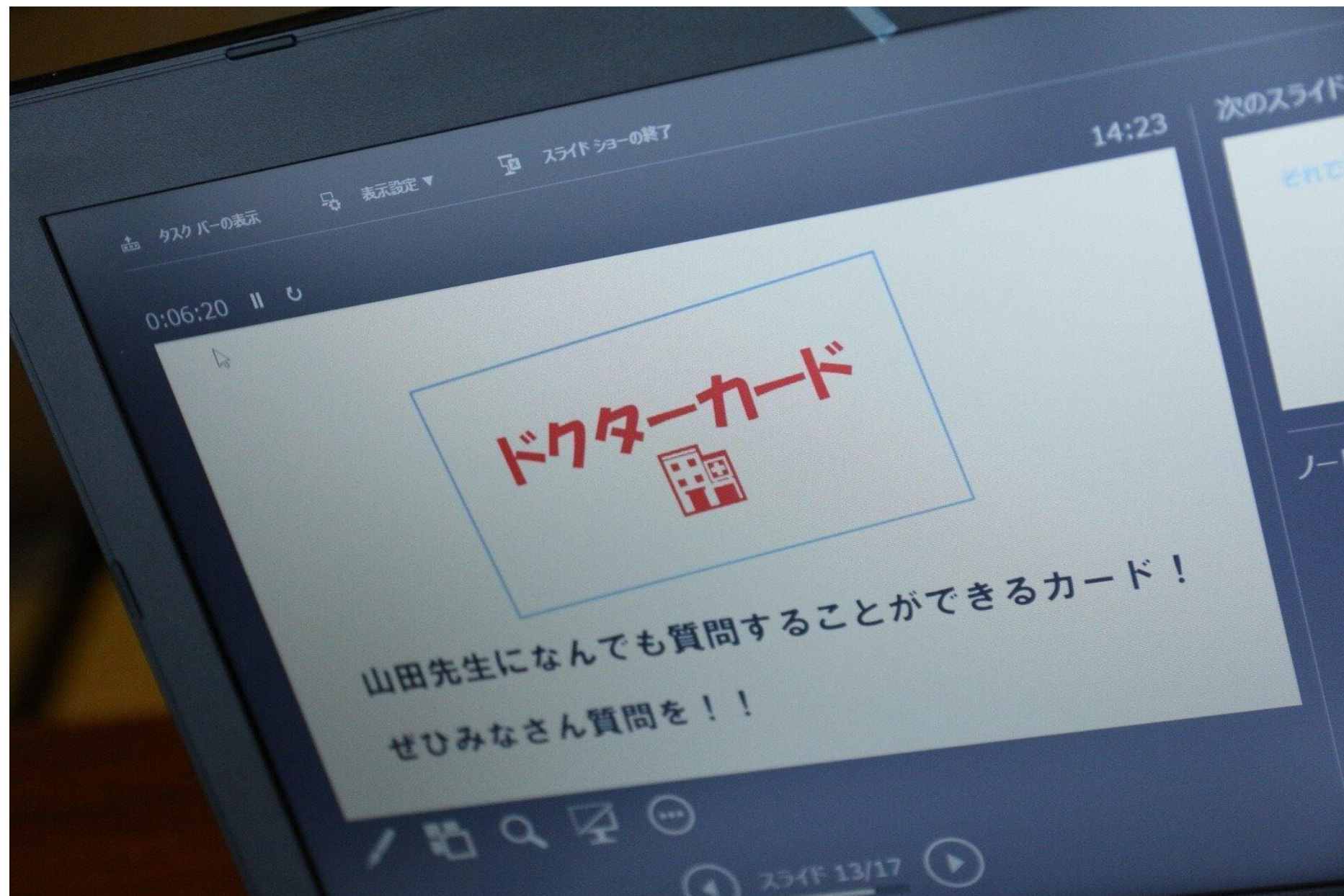
「話したいこと、聞きたいこと」
をカードへ記入！

用意したテーマ



参加者の書いたテーマ





それぞれのテーブルでミーティングスタート！



「今言うてくれたことを忘れます、
もう認知症の始まりかな」

「体操教室が少ないんですよ、
週に2回あったらな」

「洋裁が好き、
80歳でこける
までやってた
んよ」

「花づくり好き、
裏に小さなとこ
がある んよ」



「この頃は、
体操も認知症
の忘れんよう
にする体操と
かもあるで」



「**温泉**へ行きたい」(ご家族)

「趣味は手で作る**細工**(船の模型)」

「**ギター**を始めた、介護施設へ訪問へ行こうと思って」

「デイサービスで**一日中**座っている。皆が座っている。**皆**が**楽しめる内容**にしてほしい」

「朝起きて粥食べてコーヒー飲んで。自分が健康でいること（が幸せ）。妻も健康でいることが幸せ、みんなが幸せになってほしい」

「自分が幸せだと思えることが一番」

「薬を飲んだかどうか忘れてしまふ。どうしたらいいのか」

「水1つ汲んでくれる人がいない。何もかも一人でしなければならない」



医師から参加者の方へ質問！



「病気があってもなくても、もの忘れがあつたとしても、どう やったら
幸せに生きられます か？」



「がまん！（笑）気のもちよう」
「泣いて、笑うこと、わろてんかを見る！」
「苦労のない人生ら絶対ないさけ」
「その日のことはその日で忘れる」
「ええように考えるようにする」

感想

『こうしてみんな寄って楽しく過ごさせていただくのが一番ええこと』

『こうして男性女性が集まって互いに意見出して、みんなが発言するのが一番本人にとって活性化する。認知症の人だとその人によって発言できることを聞きだせるようにしてほしい。自分の思ってることをほり出したらからになれる(すっきりする)』

『ほんまによかったな』





○参加者 12名
ご本人6名、ご家族3名、ご友人3名

○スタッフ 17名

○相談コーナー利用者 2名
(ご家族、相談のみ)



平成30年1月25日(木) ふり返りの会

良かった点・反省点

- ・本人の発言が少なかった
⇒ご家族、ご友人と一緒に座ったことも影響 隣の
テーブルとの間隔が近く、ざわついてた スタッフ
の人数也多すぎた？
- ・次回からは企画段階からの本人参加を！
- ・参加者から「こういった機会が必要」という言葉が聞けた

～振り返りの会の反省～

開催内容の良かった点、反省点の話に終始してしまい、「声」をどう活かすかという話ができなかった(;一;)



認ともミーティング

自分らしく暮らしていくための
本人ミーティング

認ともミーティング in 広川

これまで認知症の方への支援は、本人抜きに話しかれることが多かったと言われています。認ともミーティングは、本人だからこそその気付きや意見を話し合い、地域づくりへの参加につなげるための集まりです。さあ、自分たちのことを自分たちで話し合いましょう！

*この事業は有田郡市1市3町合同で取り組んでいます。

日時 2018年3月17日(土)
午前11:00～午後2:30ごろまで

場所 サンライズケア花
広川町広552-4 右地図(駐車場10台)

参加費 なし(*パン等の購入は自己負担)



H30.1.18 認ともミーティングin有田市の様子



当日は、会場となりのパン屋さんでお好みのパンを選び、お食事を楽しみながら認ともミーティングに参加していただきます。

参加者募集!(申込不要)

* 広川町内の方はもちろん、町外の方のご参加也大歓迎です!

問い合わせ先: 広川町地域包括支援センター 電話: 0737-23-7724

in 広川

参加者募集!

認ともミーティング IN ありだがわ

日程 平成30年5月23日(水)

午後1時～3時

アレック

場所 地域交流センター(ALECC)

有田川町下津野704番地(0737-52-4730)

落ち着いた雰囲気の中で、認知症のご本人やご家族、医療や介護に関わる人が集まり日頃感じていることについて語り合う場。

話すことで気持ちが楽になり前向きに暮らせる。より暮らしやすい地域づくりのために、皆さんで語り合いましょう!

(お問い合わせ)
地域包括支援センター
直通(32-5102)
地域包括支援センター清水事業所
直通(25-1269)



in有田川

認知症の人の思いからはじめる
まちづくり

認ともミーティング in 湯浅

認ともミーティングは、認知症の本人が集い、本人同士が主になって、本人だからこそその気付きや意見を語り合い、これからのよりよい暮らし、暮らしやすい地域のあり方を一緒に話し合う場です。

*この事業は有田郡市1市3町合同で取り組んでいます。

日時 2018年7月18日(水)
午後1:30～午後3:00

場所 地域ふれあいサロンだんらん
湯浅町湯浅2718-1 宝栄湯(おふろやさん)前
(*駐車場あり)

参加費 なし(*飲み物等は自己負担ください)



参加者募集!(申込不要)

* 湯浅町内の方はもちろん、町外の方のご参加也大歓迎です!

これまでの認ともミーティングの様子



問い合わせ先: 湯浅町地域包括支援センター

電話: 0737-64-1120

in 湯浅

「ももも」カフェ開催！！

認知症があって「も」
その家族さん「も」
元気な人「も」みんな一緒に

『も³』カフェ

有田市立病院
物忘れ外来山田医師も参加！

へGO

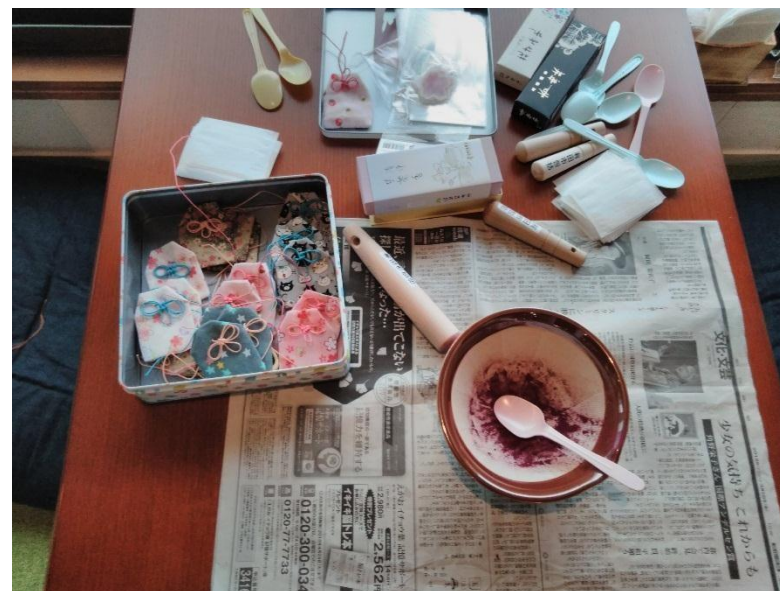
5月31日(木)
14時～17時
地域交流カフェ
AGALA

※ 店内での飲食代は通常営業につき各自お支払いただけます。

有田市箕島13-2 ☎0737-22-4974

認知症の本人の声を聴くために考えられた本人ミーティングを本年1月に初めて有田で開催し、認知症になっても地域で変わらず過ごすためには、認知症があってもなくてもみんなが共に過ごせる空間も必要であることに気づきました。今回は、通常営業している空間の一部をお借りし、専門職のサポートもある中で語らう場をつくります。また、家族という立場の方だけで思いを分かち合いたい方は2階のフリースペースへどうぞ！

【お問合せ先】有田市地域包括支援センター ☎0737-83-1111内線(230)
有田市社会福祉協議会 ☎0737-88-2750



○これまでの取り組みを通して

①「本人・本人たち」に対する認識（見方や考え方）の変化

- ・「本人の声（気持ち・希望・考え）を聞く」ということを意識づけられた。
 - 今までは、本人の声をこちらで想像したり、先に家族から聞いてしまっていたが、事業を計画する段階から、意識して「本人の声を聞く」ことを考えることができた。
 - 事業だけでなく、普段の業務でも自然と「まず本人の声はどうか」を意識することが出来ている。
- ・病院でも「本人の声」を元に、各市町村の情報集約、提示など行っていたが、今回の取り組みをきっかけに、その大切さに改めて気づく事ができた

○これまでの取り組みを通して

②今後の地域支援体制構築に向けて役だったこと

- ・今回、さまざまな立場（民間事業所、社会福祉協議会、病院、行政 等） が一緒になって本人を起点とした取り組み（本人ミーティング）を企画・実施したことで、それぞれが普段の業務に戻ってから意識して「本人の 声を聞く」ことが出来ている。
- ・認知症について「自分のこと」として考えるきっかけとなり、それぞれが 自分にできることをみつけ、そのつながりが広がっていくことで「認知症になっても大丈夫」という意識につながっていける
- ・企画段階から他機関が意見交換して関わった事で、チーム力が上がった

有田市立病院 と 有田圏域との取り組み

有田市立病院 医務課 道場浩幸

認知症地域支援推進員(H29/6月末)

有田市立病院の概要

【開設者】

有田市

【許可病床数】

一般：153床（一般病棟 54床・地域包括ケア病棟 99床）・感染：4床

【診療科（標榜）】

12科（内科・循環器科・外科・整形外科・泌尿器科・皮膚科
・産婦人科・小児科・耳鼻咽喉科・眼科・脳神経外科・麻酔科）

これまで**認知症の患者・免許更新の診断書**は、
脳神経外科医（非常勤）や開業医
県立こころの医療センターに対応してもらっていた。



【背景(きっかけ)】

平成28年冬 有田市立病院
経営戦略委員会(ニボトムアップ提案会議)にて

『院内でも増え続けている
認知症患者対策しませんか？』が
きっかけで、様々な取り組みを開始
しました。

認知症患者対策の強化作戦

- 職員みんな認知症サポーター計画

職員がキャラバンメイトとなり、院内研修や新人研修 に
現在職員の**半数100名**がサポーターに



- 認知症ケア専門士の増員

0人⇒**5人**

- 看護相談外来**(認知症ケア)の開始

認知症ケア専門士中心に、**無料**患者相談

やること増えてきたので
特化した委員会 作成！
(認知症対策委員会)

- 認知症ケア加算**2**の算定開始

院内マニュアル作成・研修会の実施

- 認知症対応の医師を招聘しよう**

⇒平成29年4月から、認知症の専門医師が週**1**日来てくれる
ことに！

有田市立もの忘れ外来



- 初診枠: 3人(予約制)
- 再診: 初診の合間に3人程度
- 特徴: **その日のうちに鑑別診断**
- **↑ MRIをもの忘れ外来専用枠で確保**
 - もの忘れ外来専属Ns(認知症ケア専門士)配置
 - **自作ガイドブック**で説明
 - まだまだ相談したい人は**看護相談外来**へ誘導



地域との連携（イベント編）

- 有田市立病院 健康フェスティバルでの認知症カフェ
フェスティバル参加者に**認知症啓発**



- 有田市立病院 健康講座
認知症ケア専門士が院内で住民向け講座
「認知症を知ろう」



- 有田市 病診連携懇話会 講師：山田医師
- 有田市介護予防講演会の「もの忘れ相談コーナー」担当
- 地域の認知症カフェの「もの忘れ相談コーナー」担当

地域包括支援センターや地域の関係者と**コラボ**

地域との連携

(本人ミーティングへの協力)

有田圏域合同開催の「**認ともミーティング**(本人ミーティング)」

企画段階から医師も参加し、当日、医師・認知症ケア専門士等参加

※平成29年度厚生労働省老人保健健康増進等事業

認知症診断直後等における認知症の人の視点を重視した

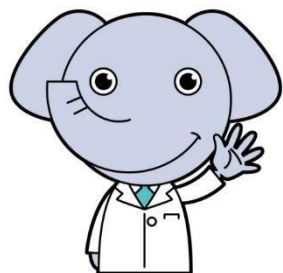
支援体制構築推進のための調査研究事業



病院の診断後 ⇒ 介護サービスを受けるまでの間

↑『初期の空白期間』↑

本人たちは、どのようなことをしたいのか
何を悩んでいるのか



診断を行う病院

症状が軽度の人・重度の人、様々な本人の声を聞ける場所



地域との連携（本人の声から その①）

・本人の声『地域包括支援センターって何するところ？』

⇒有田圏域の各地域包括支援センター案内チラシを集め、患者に配布

【派生】認知症イベント情報も診察時に配布
ポスター院内掲示

・本人の声『家の近くで、予防体操とかしたい・・・』

⇒有田圏域の介護予防教室のMAPを使い、医師が説明・誘導



合体版！



地域との連携（本人の声から その②）

免許返納関係の診断書を作成する病院

・本人の声『車の免許がなくなると困る』

⇒病院が免許返納した受診者に、

地域のデマンドバス（コミュニティバス）チケットの支援

現在利用者：月7・8人程度



全国初？

たかだが100円のチケットだが

『支援普及のきっかけになってほしい』

市町村・警察署へPR



周辺市町村で、

返納者へのタクシー助成券サービスが始まった！

小さな公立病院からの メッセージ

★認知症疾患センターじゃなくてもいろいろ出来る
週一の非常勤医師でも出来た

★病院は認知症患者の**入口**

◎情報発信にはもってこい

&

◎本人(軽症～重症)や家族の**声**が聞こえる場所

- ぜひ病院を巻き込んで
- 一緒に取り組みましょう

